

三股町の人口

2月1日現在
男 7,031人
女 7,795人
計 14,826人
世帯数 3,688戸

広報みまた

'66.3

No. .31

発行 三股町
編集 総務課

腹一ぱい食べるよりも

栄養のバランスを

健康のあと

これが

上米部落の婦人会において

した。

では、部落ぐるみ、健康な明るい家庭を築こうと、昨年七月から栄養学級を設けて、毎月一回相寄り、栄養士の先生のもとに、根気よく勉強を続けてきましたが

その努力の甲斐あってこの程全員無事、栄養初級の資格をマスターし、去る二月九日、その終了式を行いました。

当日は、あれもこれもと日頃学んだ料理を、腕によりをかけての試作も、文字どおり手ぎわよく料理して舌づつみを打つ試食もにぎやかに「うーんこれでうちの子は健康優良児間違いなしや」とか「うちの父ちゃんをうんと養つてかせいでもらわにや」などと、笑いのうずの中に、あの顔、この顔にもよくぞ続けてきたという満足感あふれるものがありました。

終了式もいともおどそかに、懇々しあわせな家庭を築こうと誓い合つております。

そこで町においては、この幸福の素とも言へべき、食生活の改善をはかるために早くから計画的に栄養学級を設けてその推進をはかつております。



のどから
手が出るような
いゝにおい

三股町先賢伝編纂会特集

水と土に生きた

三股町名譽町民

上原莊吉翁伝

刊行さる

上原翁と著者（隈元氏）

水を求め、
土との戦いに
その一生を捧げた、三股町

名譽町民上原莊吉翁の血と汗の記録、上原莊吉翁伝がこの程、三股町先賢伝編纂会によつて刊行されました。

上原翁はわずか一六才にして身をおこし、明治四二年に若干二七才にして樺山耕地整理組合を組織し、その後五年有余の才月を経て、樺

山六七町歩の耕地整理を完成するなど以来実に四八年間の長期にわたつて、灌漑

に区画整理に、その心血を注いでおります。

伝記は先ずその生い立ちから書きおろし、「今に見

ていろ、僕だつて見上げる

う。

私は水と土に戰つたこの翁のあくなき執念とその実行力を大いに学び、その意志をついで、愈々奮める

未来の町、三股町を実現す

ることが、この先覚者に報

いる最大の道でありますよ

倍の負けじだましいのもと
に、水と土に生きぬいたそ
の一生が克明に記るされて
おります。

農業をおこすには、何は
さておいても水の解決と基
盤の整備が先決であるとし

て、ひるむ農民を懸命に説
き、自ら陣頭に立つてそ

の記録は、即ち我が三股
町の農業の変革史として、

感動と興味深いものを覚え

ます。

私は水と土に戰つたこの翁のあくなき執念とその実行力を大いに学び、その意志をついで、愈々奮める

未来の町、三股町を実現す

ることが、この先覚者に報

いる最大の道でありますよ

△有難うございました△

左記の方々から、それがあたかい寄附をいただきました。紙上をもつて厚く御礼申し上げます。

忌明寄附

おくられた金

おくれた人

亡くなられた人

故原口千加子

早田政雄

上原ヤス子

上原利光

高妻剛

立山重寿

桑畠秀茂

立山和子

立山好孝

立山ニヌ

立山嘉熊

立山ミコ

立山宮越助夫

立山指宿さえ

柳橋光保

立山瀬尾寅典

立山太佐メ

立山下村アキ

立山北畠

立山早八

立山嘉熊

久保国忠

久保洋子

久保司

松永宣光

松永良男

黒木信幸

柳橋伊太

柳橋佐伊

瀬尾寅典

瀬尾フヂ

太佐メ

太佐汀

下村ナカ

下村野間

下村アキ

下村北畠

下村嘉熊

久保久保

久保久保</p